

## 平成30年度 平井保育園事業報告

### 1. 概要

#### ①運営報告

- 平井保育園の在園児の中にも、育児休暇取得中の保護者が多く、年度末には0歳児(誕生月で1歳)の待機児が14名となっている現状でした。
- 0～1歳児保育の充実を考え、主任が中心となってクラスに入り指導と話し合いをしてきました。クラスの子どもの発達段階は書籍を参考に確認したり、楽しめる遊びの提供をしたりしてきました。今後も継続して子どもをよく観察し、適切なあそびの提供や声掛けができるように勉強していきます。
- 保護者に保育を分かりやすく伝え、保育園での様子や生活を知ってもらい、理解を深めてもらうためにドキュメンテーションを始めました。文章が観察記録的となっていることが多いため、子どもの行動の意図や子どもの思いなど洞察する力をつけるために、記録を基に園内研修をし、内容を深めていきます。
- 求人紹介業者やハローワーク、セミナー参加なども積極的に行いましたが、正規職員の確保にはつながりませんでした。しかし、年度途中に採用した非正規職員には「保育の一日の流れ」を基に園内研修を通して保育の方法など具体的に伝えることができました。専門性を高めていくためにも雇用形態を問わず園内外の研修に参加する必要を感じています。

②定員 120名 園児数130名(3月31日)

③事業日数 362日 (うち休日保育 44日実施)

④開園時間 平日 7:00～20:00 休日 8:00～18:00  
土曜日 7:00～20:00

⑤保育時間 早朝保育 7:00～8:30  
通常保育 8:30～18:00【標準時間認定】  
8:30～16:30【短時間認定】  
延長保育 18:00～20:00

⑥職員数 園長 1名、主任保育士 1名、看護師パート 1名  
保育士 17名 (うちパート保育9名)  
子育て支援担当職員 3名 (うちパート保育士2名)  
延長保育担当保育士 3名 (うちパート保育士3名)  
調理員5名 (内パート職員3名)  
嘱託医(松山市の指定による)内科医 1名・歯科医 1名

## 2. 保育運営

### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

### ③保育目標

乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラス体制（3月31日）

0.1歳児	25名	保育士	5名（うち保育士パート3名）
2歳児	21名	保育士	4名（うち保育士パート2名）
3歳児	28名	保育士	3名（うち保育士パート・障害児加配1名）
4歳児	27名	保育士	1名（4.5歳児フリー保育士1名）
<u>5歳児</u>	<u>29名</u>	<u>保育士</u>	<u>1名</u>
合計園児数	130名	保育士	14名
主任保育士	1名		
延長保育担当保育士	3名	（うちパート保育士	3名）

### ⑤保育内容

- 「全体的な計画」を基に各クラスの保育を実践しましたが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」へのつながりを意識し、保育の振り返りを行うことが十分ではありませんでした。次年度は10の姿に視点を置きながら保育実践ができるように、園長、主任がクラス担任と確認していきます。
- 0～1歳児クラスは、ゆるやかな担当制を実施し、少人数で関わることで保育士との愛着関係は深まっています。しかし、子どもからの発信への気づきが不十分で、先取りして関わってしまうことがあり、待つことを意識していく必要があります。また、子ども達の発達に合ったあそびの提供については、さらに学んでいきたいと思えます。
- 0～2歳児は安田式運動遊具の1～2歳児用雲梯を購入したことで、ぶら下がったり渡ったりして楽しむことが多くなり、子どもの身体機能の発達と共に子ども同士が共感し合っ楽しむ姿も増えました。歩く・段差の登り降り・箱に球を投げ入れる・巧技台から跳ぶ・鉄棒にぶら下がるなど計画的に遊び、子ども達の活動量も上げることができました。

- 子どもを主体とした保育を実践していくため、日頃からこどもの興味や関心を大切にしてきましたが、今後はさらに、子どもの主体性を引き出すための環境を整え、子ども達が意欲的に物事に取り組めるようにしていきたいと思います。そのことを、園長・主任と一緒に確認していきます。
- 幼児クラスの「石井式漢字教育」は、保育士の研修を再度行いました。保育士自身が正しい発音を心がけることで、子ども達の意識が高まり集中して取り組みました。
- 専門の講師による「音楽あそび」指導は子どもたちの中で定着し、特に3年間指導を受けた年長児は聴く力や美しい発声などにも気を配り、合奏も全員で合わせることに喜びを感じるようになっていました。
- 幼児クラスの毎朝の「意味ある運動」は毎日継続しました。さらに、待ち時間を減らし、活動量を上げるために遊具の設定の仕方を工夫しているところです。
- ジャクパ四国の体育あそびで体育指導を学び、安田式運動遊具も活用することで、楽しく身体を動かすことや共感性を大切にしながら活動することを意識し、計画的に取り組みました。
- 引き続き、保育園でのルールである「並んで待つ、順番を守る、物を大切に扱う、人への挨拶を丁寧にする、大きな声を出さない」など、全職員が伝えてきましたが、指示的になってしまうことがあり、望ましい姿を具体的に褒める事につながっていませんでした。子ども達の自律を促すためにも継続して取り組んでいきます。
- 人権指導は年間計画に沿って実施しました。保育士自身も「人権マニュアル」を確認し意識付けしましたが、今後も継続して具体的に伝えていきます。
- 食育年間計画に沿ってプランターや畑で野菜の栽培をし、収穫や調理活動を通して「命・食の大切さ」を伝えました。また、マナーを守ることの大切さも食事のたびに指導しています。0.1.2歳児は保育士1名に対し子ども3人で食事することから始め、一口ずつしっかり噛んで食べることを伝えてきました。
- 平井保育園では、園周辺の恵まれた自然環境を活用するため、各年齢で園周辺の散歩を計画的に行いました。今後は、保育園内でも気づける自然事象についても主体的に学べるように環境を整えていきます。

#### ⑥家庭との連携

- 家庭訪問(新入園児1回)や個別懇談(年1回)では、園の保育方針や個々の子どもの成長や発達を伝えてきました。また、保育参加では、実際にクラスでの子どもの様子を見ていただくことで、一人ひとりの発達や課題についても具体的に話すことができました。そのことから療育や5歳児健診につながった子どももおり、関係機関とも連携を取っています。
- クラス懇談会を年2回実施しました。保育方針や保育内容について保護者に伝わりやすいように、文章や映像を用いて伝えていきました。
- クラスだよりでは、その月の目標に沿った保育内容を写真や分かりやすい文章で伝えるようにしてきました。今後は日々の保育についてもドキュメンテーションで伝えていきます。
- 乳幼児期における睡眠時間や食事の大切さについては、園だよりとクラス懇談会での「保育園の1日の流れ」の中で話をし、保護者に伝えました。
- 年長児は、就学前個別懇談を行い、就学に向けた取り組みと子どもの様子や課題について保護者に伝えました。また、卒園後も継続して支援できるように相談窓口があることを伝えていきます。

- 今年度は様々な問題を抱えた家庭の子どもが登園するようになりました。今後も専門機関とは必要な連携を取っていきます。

#### ⑦人材育成

- 各年齢の「保育の一日の流れ」に沿って、ゆるやかな担当制やグループ保育を実践していますが、非正規保育士の年度途中の入れ替わりなどあり、保育士同士が共通意識を持っていくことが課題となってきました。今後も、園長・主任がクラス担任や非正規保育士とも繰り返し話し合っていきます。
- 「全体的な計画」を基に各クラスの年間計画を立案し、月案、週案におろしていきましたが、目標が達成できているのかなどの評価が十分できませんでした。しかし、職員会議等で園全体での話し合いはできつつあり、改善に向かうようになっています。
- 乳児クラスでは、子どもの発達を理解するため書籍「乳児の発達と保育」をもとに勉強会を行い、あそびや関わり方を学んでいきました。
- 安田式運動遊具を使った0.1.2歳児の運動あそびや3歳以上児の運動あそびを基本から学び直すために、講師を招き各年齢ごとに、応答的に関わる体育遊びを学びました。今後も引き続き、子ども達の共感力や模倣力が身につく意欲を持って取り組めるように実践します。
- 個別研修計画を作成し、それに沿ってキャリアアップ研修や園外での研修を受講し、職員にも伝達する機会を設け、保育士の専門性を高めていくように取り組みました。
- 園内研修（石井式漢字教育、アレルギー対応、救急救命、SIDS、感染症対応、不審者訓練など）を行い、内容の充実や危機管理意識を高め安全性の確保に努めました。
- 子育て支援担当は、「松山市子育て支援拠点事業連絡会」や専門研修に参加し、地域の実態を把握すると共に、地域の子育て中の家庭のニーズに応えられるように講座等も実施していきました。

#### ⑧地域の実態に対応した事業

##### ●地域子育て支援拠点事業

- ・子育て支援センターでは、民生委員や講師の協力も得て、地域の親子が楽しく子育てできるような豊かな環境づくりに力を入れました。
- ・園庭開放に143人、保育園行事参加に112人、保育園体験での給食試食に10人の参加があり保育園を知ってもらうための機会づくりとなりました。今後も保育園をもっと知ってもらう活動を考えていきます。
- ・活動については、ホームページ掲載や、ポスター掲示に加え、チラシ等を支所や公民館、銀行、小児科などに設置、回覧板に掲載するなどの広報活動を行っていますが、近年はホームページを閲覧し参加する利用者が多くなっています。
- ・子育て支援センター利用の保護者のニーズとして、自分の子どもの年齢発達や接し方を知りたいという希望が多く、年齢にあった絵本の紹介や接し方、遊び方など提案したり、子育て支援のおたよりにも掲載したりして情報発信をしています。
- ・赤ちゃん広場の利用者が昨年度は述べ565名でしたが、今年度は733名と多くなっています。初めての育児に不安を抱えている保護者も多く、離乳食や育児等の相談もあったため、担当者を中心に対応するようにしました。

### ●地域とのかかわり

- 地域の小学校の保育園訪問ではたくさんの質問を受けました。今年から始まったジョブチャレンジ事業として中学校の職場体験(5日間)も受け入れ、保育園の役割や業務について知ってもらうように取り組みました。
- 年長児が高齢者施設「梅本の里」「安心ハウス仙波」との交流や施設訪問を通して、優しく接したり、運動会の競技を見てもらい褒めてもらったりすることで自信を持つ姿がありました。また、地域の文化祭発表や商店街や夏祭りでの盆踊りにも参加し、地域の方に保育園の活動を知ってもらう機会も持ちました。

### ●小学校との接続

- 年2回の保幼小連絡協議会での意見交換や園児の引継ぎを行いました。また、近隣小学校の行事参加や授業見学を計画的に行い、学校側からも日常の子どもの様子を見に来てもらう機会を設けることで、小学校への移行がスムーズになるよう取り組みました。
- 就学前教育相談を3名が受け、内1名が特別支援学級で支援してもらうことになりました。

## ⑨苦情処理

- 地域の住人やマナーを守っている保護者から、駐車場利用のマナーについて苦情が上がりました。他園での駐車場内での事故のニュースなど伝えるなど、機会をとらえて注意喚起しています。また、マナーを守れていない保護者には個別にも注意しています。
- 園長、主任と職員間の報告、連絡を積極的に行うよう意識を高めています。機会あるごとに伝え合い、改善できることはすぐに改善し、保護者の理解を得るようにしました。

## ⑩リスクマネジメント

- 計画的に職員の安全や保健に関する研修(危機管理訓練、救命救急、感染症、SIDS、アレルギー対応について等)を行いました。他園の事例についてもニュースやインターネットで検索し、同様の事故が園内で起こらないように自園に置き換え対策を考え、職員周知しています。
- 様々な場面や時間を想定して避難訓練(年1回消防署立ち合いの総合訓練)、消火訓練を(月1回)行いました。また、職員1名が研修受講し防災士の資格を取得しました。
- 災害時特に地震に備えて、園長、調理員を中心に備蓄品・アレルギー児備蓄品の点検・整備をし、見直しました。非常持ち出し袋の点検は月1回しています。また、園児引渡し表を保護者に配布し、実際に引き渡し訓練を実施しました。
- 大規模地震に備えて、松山市に老朽化している園舎や構造物についての耐震診断を依頼していましたが、次年度に予算がつき土地購入したのち新築園舎を建築することになりました。
- MACネットシステム登録の重要性について保護者全員に周知しました。非常災害時や感染症発症状況等について情報配信を積極的にしています。また、随時登録状況の確認を行いました。
- 園児に交通安全全指導を(月1回)実施し、交通安全対策担当による交通安全教室も(年1回)実施しました。登降園時の安全確保のためにマナーを守ってもらうように何度も保護者に注意喚起し、危険と思われる場合には個別にも伝えていきます。
- 小野交番連絡協議会(年3回)に参加しました。地域の危険箇所確認や情報収集ができ、良い機会となっています。また、保育園の取り組みも伝え、協力を求めたところ巡回もしてくれています。

⑪休日保育

- 日曜、祝日の休日に就労のため保育が必要な子どもを対象に休日保育を行いました。今年度は利用家庭が少なく開園日数も減っています。

8：00～18：00 （正規職員1名・パート1名で対応します）

⑫その他

- 1～2歳児用の雲梯（安田式運動遊具）を購入しました。
- ホームページを外部委託しリニューアルしました。